

改善計画書

施策番号	局・部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)
31420	環境経済局 経済部	商業サービス業課	課長	沖津 茂寿	042-769-9255
施策名	にぎわいのある商店街づくりの支援				

1 施策の目的

個性的で魅力的な商店街の形成に向け、商店街の担い手の養成、商店街への加入促進など商店街の組織強化や商店街運営・事業活動の充実を促進するなどにぎわいのある商店街づくりを支援する。また、地域の消費者との交流事業や情報発信、空き店舗対策を促進するなど、商店街の活性化を支援する。

2 取組み(目的達成するため、課題解決に向けて取り組んだ内容・事業)

- 若手経営者や商店経営者を対象とした商店街の担い手育成のための講座を開催した。
- 商店街の加入促進活動に対して支援した。
- 商店街の近代化を図るため、共同駐車場賃借料や街路灯電気料等に対して助成した。
- 商店街の活性化を図るため、商店街が取り組むソフト事業やイベント事業に対して助成。
- 商店街の活性化を図るために実施される商店会の研究会等にアドバイザーを派遣した。
- 商業振興施策に関する基礎資料及び事業者等が活用できる資料として、市内商業地における「通行量調査」と、城山・津久井町分の「商店経営者調査」を行った。

3 実績値の分析(目標値に対する実績値について、取組み内容の効果・成果を分析する)

- 「にぎわい効果があった」と回答した事業率(イベントの割合)については、事業者の創意工夫により、にぎわい効果のあるイベントの割合が増え目標を達成した。
- 「平日の通行量」については、目標達成に至らなかった。通行量の調査頻度は、数年に一度となっているため、通行量減少の要因や、事業の成果を正確に把握できていないものの、本市近郊へ新たに立地した商業施設の影響、駐車場から直接商業施設に出入りする来街者や駅の乗降客が街なかを回遊していないこと、イベントの実施が恒常的な来街者の増加にまでは至っていないことなどが、要因であると考えられる。このため、通行量調査の調査頻度を可能な限り増やすとともに、商店会に対してアンケート調査を実施し、成果目標の達成のために要因や事業成果のより正確な把握に努めたいと考えている。

4 平成20年度評価結果(3次評価での指摘事項及び意見)

1次評価	C	2次評価	C	3次評価	C
------	---	------	---	------	---

◆本施策の成果が測れる指標「整備した商店街の販売額」や「整備後の商店街の来客数」などを把握し、施策の実施の前後で測定すること。

